

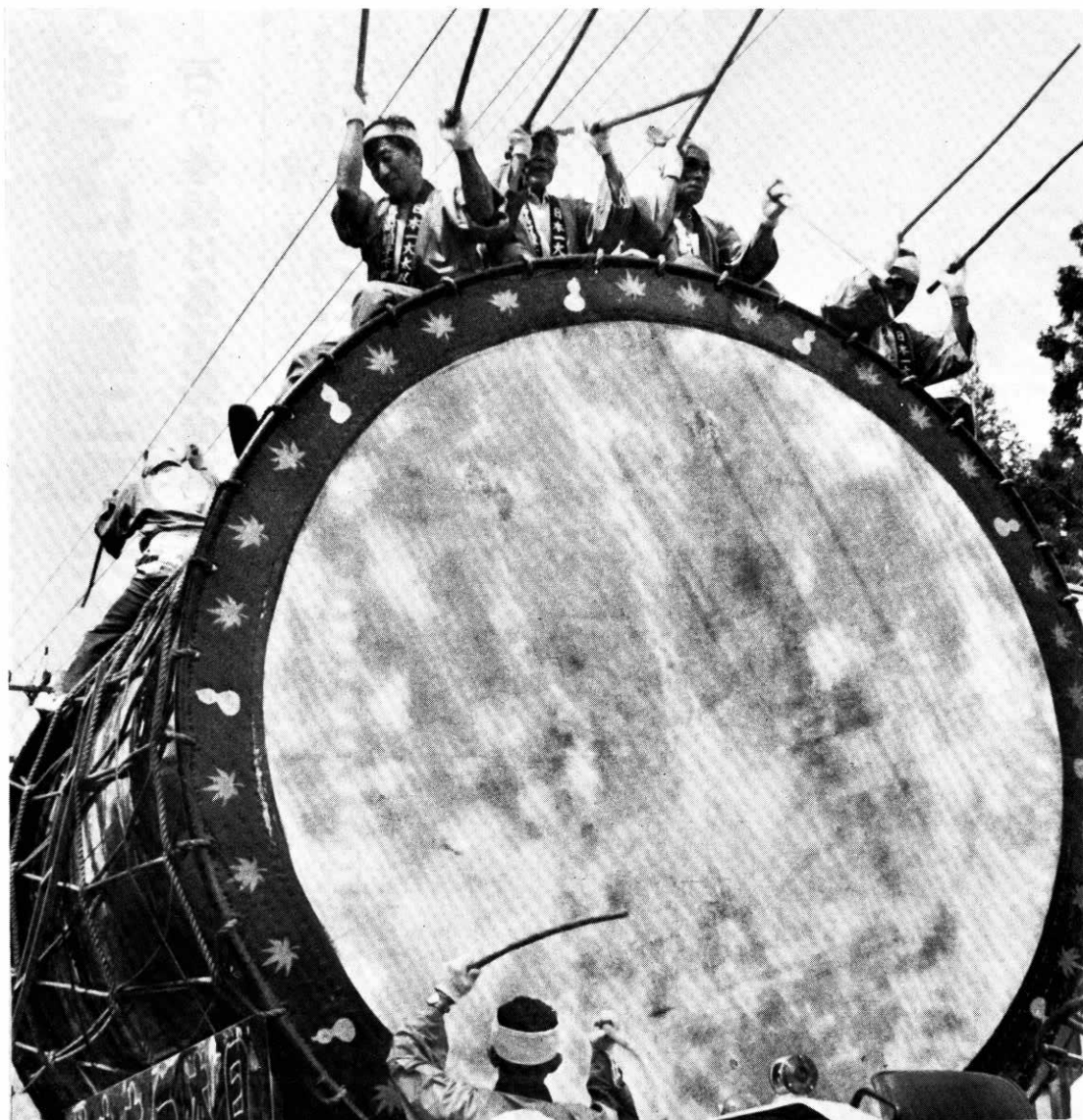
たかのす

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

6月30日現在	(前月比)	
総人口	25,480人	(38人増)
男	12,473人	(29人増)
女	13,007人	(9人増)
世帯数	7,059世帯	(11世帯増)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



ドドンと豪快・日本一

No. 413

54・8・1

日本一の太鼓が登場する綴子神社の祭典が、7月14日宵祭、15日に例大祭が行われ、夏空の下でにぎやかに繰り広げられました。

今年は豊臣方(下町)の出番。直径3.18mの太鼓に乗って打ち鳴らす音は、雷鳴のような豪快さ。また、境内では勇壮な獅子舞、奴踊りが奉納され、およそ5百人の見物人をたんのうさせました。

「摩当・向黒沢間」

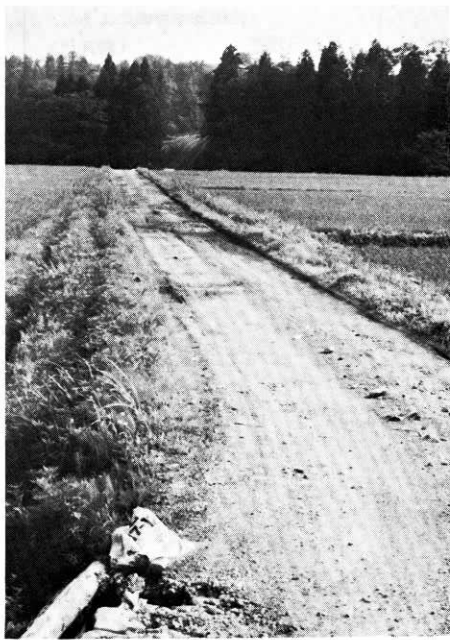
十二月までに路盤工事完成

『石の巻線は農道整備事業で施行』

町議会臨時会は、七月十七日と二十一日の二回にわたり開かれ、団体営農道整備事業で施行する摩当・向黒沢線の工事請負契約の締結、七座財産区の財産処分についてなど四議案を審議、原案どおり可決して閉会しましたので、その内容についてお知らせします。

一千三百二十メートルを改良

▽工事請負契約の締結について
摩当・向黒沢間一千三百二十メートル（幅員五・五メートル、有効幅員四・五メートル）を、団体営農道整備事業として工事費三千九百九十九万円で施



拡幅改良が行われる摩当・向黒沢間

行するもの
工期は、七月二十二日から十二月十日まで、工事請負者は堀井組堀井三治郎。

この工事は、摩当・糠沢線三千八百八十五メートルの内、摩当の旧栄支所跡から向黒沢部落までの三千百八十五メートルを、団体営農道整備事業

として五十一年度から工事を開始しているもので、今年度の工事で摩当・向黒沢部落間の道路は、全線改良されることとなります。

なお、同線は五十三年度までに一千八百四十八メートルの改良工事が完成しておりますが、この内、今年度は摩当の起点から一千メートルを舗装、残る二千八百八十五メートルについても、五十五年度から舗装工事をすすめることにしており、同路線の総事業費は二億一千五百万円が見込まれています。

▽町道路線の廃止について
摩当・糠沢線三千八百八十五メートルの内、摩当・向黒沢間三千八百八十五メートルを団体営農道整備工事として改良舗装するため、町道を廃止するもの。

墓地公園入口まで団体営土地改良で施行

▽団体営土地改良事業の施行について
石の巻線、南鷹巣旧軌道跡から墓地公園入口までの延長一千四百四十四メートル（幅員五メートル、有効幅員四メートル）を、概算事業費五千五百十万円で、五十四年度から五十六年度までの

三カ年の予定で施行するというもの。

▽財産処分について
七座財産区有地を関係者に払い下げするもの。

払い下げの内訳は、黒沢部落二十六名に雑種地、保安林、畑、山林など十五筆、十九万五千二百七十六平方メートルを二十九万三千七百八十六円で。前山部落百三十三名に田、畑、雑種地、原野、宅地など百八十五筆、二十九万九千六百七十八・一五平方メートルを四十八万六千二百八十七円で。今泉部落百五十三名に原野、雑種地、山林、溜池、田など二十八筆、四十八万五千九百十七・三〇平方メートルを七十二万九千三十七円でそれぞれ払い下げるものです。

納税貯蓄組合
育成功労で表彰

五十四年度町納税貯蓄組合連合会総会が、七月二十日午後一時から鷹巣公民館で開かれましたが、席上、次の組合長が納税貯蓄組合の育成功労で町長と連合会長から表彰を受けました。

▽町長表彰 前沢納税貯蓄組合長 大川三次郎 羽立第一同成田藤重 糠沢同佐藤三治 西横町同桜庭新八 上舟木第二同鈴木繁三郎
▽納税貯蓄組合連合会長表彰 羽立第二納税貯蓄組合長 佐藤一郎 綴子上町同小松惣一 摩当向町同小坂健二 桜木町同小林一郎 下糠沢同米沢シマ

町 長 日 誌

7月1日～7月15日

- 1日 鷹巣杯テニス大会
- 2日 商工会青年部通常総会
- 3日 七座体育館の設計打ち合わせ
- 4日 森吉町外四カ町村病院組合管理者会、臨時会
- 5日 町長と語る会 前野団地生活改善連絡協議会総会
- 6日 秋田県観光振興計画に伴う圏域推進協議会設置会
- 8日 家庭バレーボール大会
- 8日 全県クラブカップバレーボール大会
- 9日 市町村長会議、県指定水防管理団体連合会協議会
- 10日 総会 秋田市 鷹巣阿仁養豚自衛防疫協議会
- 11日 町和牛共励会
- 11日 県市町村農業構造改善対策協議会理事會 秋田市 綴子地区褐毛和牛組合研修会
- 12日 中高校校長連絡協議会
- 13日 鷹巣地区運動会
- 15日 陸上競技場設計打ち合わせ
- 議会 日 誌
- 7月1日～7月15日
- 2日 商工会青年部総会
- 6日 総務常任委員会、交通特別対策委員会各正・副委員長打ち合わせ会
- 10日 総務常任委員会

国民年金

所得の申告と
福祉年金受給

福祉年金は、保険料を掛けなくとも、全額国の負担によって年金が支給されております。

しかし、限られた財源の中から効果的に年金を支給しなければならぬため、恩給や厚生年金などを受けているときや、本人、扶養者などにある程度の所得があるときは、その受給に制限を加えることにしております。

今回は、所得申告と福祉年金の関連をお知らせします。

◆所得の申告がなぜ必要か……

毎年八月、町における当核受給権者や扶養義務者などの前年の所得状況を調査し、各種審査を行った上で、県において当核年の支給停止を決定することになっております。

したがって、収入の多少にかか

わらず、所得の申告をしない者は「所得の把握が不可能」なため、支給が停止されることになります。※生活保護を受けている場合でも、申告がされていないため停止される場合があります。

※譲渡(長期・短期)所得がある場合に、無申告のため年金をそのまま受給していたときは、後日返還させられることになります。

◆扶養者など変わったら……

福祉年金証書は、八月期支払分を八月十一日以降に受給したら、役場年金係窓口へ提出することになっております。受給権者の住所が変わったり、扶養していた人が変わったり必ず届け出てください。また、万一本人が死亡した場合に、遺族が年金を引き続き受けていると、後日返還させられることになります。

『前野町で「町長と語る会」』

神社を建設・九月に祭典

七月六日午後七時三十分から、綴子前野町(小畑文英会長)で「町長と語る会」が開かれ、新しい町内会づくりの展望についてつづこんだ話し合いが行われました。

町長と語る会に出席したのは、

町内会、青年部、婦人部、子ども会それぞれの役員十六名。最初に出川町長が町政全般について行政報告をしたあと、出席者から通学路の整備、バス待合室、墓地など、町内会の要望がだされました。

その中で、特に新しい町内会というところで、地域の連携を図り、子どもたちにはふるさと意識をもたせたい。そのための一つの手段として神社を作り、いい面での歴史と伝統を育てたいとの希望がだされましたが、これに対し出川町長は、町内会多数の要望であれば、分譲の際に残している一角を無償で貸与してもよいとの意向を明らかにしました。

かになりました。

町内会ではこれを受け、神社建設委員会を作り、九月中旬に神社を完成、祭典を行いたいとして準備を急いでいます。

生涯教育奨励員と
地区相談員を委嘱

町では、五十四年度の生涯教育奨励員と奨励室地区相談員に、次の方々を委嘱いたしました。

奨励員は特技をもっている人、相談員は各地区ごとに持ち込まれた話を、相談室に連絡することになっておりますのでご利用ください。

(奨励員)

成田敦子(親子読書会) 佐藤タマエ(婦人ボランティア) 小島博行(芸文協) 泉雄次郎(体

育振興会) 宮野雄治(子ども会) 戸沢イサオ(婦人学級) 五代儀義富(水泳協会) 大川清孔(町内会長) 奈良康一(ロータリークラブ) 桜庭正悦(県北詩吟連盟)

〔地区相談員〕

本城谷鶴藏(小摩当) 岩本進(岩脇) 橋本栄一(与助岱) 千葉正重(横瀬) 畠山キヌ(三ノ渡) 畠山喜世治(向黒沢) 佐藤金治郎(坊山) 畠山堅逸(二本杉) 千葉義男(中屋敷) 藤田ヨネ(黒沢)

少年健全育成で
近藤さんに感謝状

県少年保護育成委員制度発足二十周年記念大会が、去る七月五日秋田市の産業会館で開かれましたが、席上、少年の保護育成に永年功労があったとして同委員近藤次夫さん(社会教育課長)は、竹村精一県警本部長から感謝状を受賞しました。

停電のお知らせ

八月六日から十一日まで、次の地区が作業のため停電となります。時間は、午前九時から十二時まで。

(6日) だけは午後一時まで
▽6日 綴子下町、訓練校、芳徳会付近
▽7日 七日市門ヶ沢地区
▽8日 南鷹巣信号、三國ブロック付近
▽11日 西旭町、石井樽丸付近

農業後継者の中核

畠山さん青年農業士に



畠山さん

の全課程を終了した二十三歳から二十八歳までの人で、きわめて優秀であること、厳しい条件がついています。

畠山さんは、四十八年県立農業大学園卒。五十一年町農近ゼミ会長を務め、山間部における育苗、土壌改良をはじめ一貫した稲作経営に養豚をプラスするなど、経営の安定と合理化に務める農業後継者で、地域の信望も高く、今後の活躍が期待されます。

このほど大曲市で開かれた全県農近ゼミナール大会で、綴子字二本杉・畠山喜久藏さん(26)が「青年農業士」に選ばれ、認定証書が交付されました。

青年農業士は、農近ゼミナール

第八回学童野球大会

鷹巣小が優勝飾る



ました。

第二回肉用牛共励会

資質良好で粒ぞろい

町和牛生産組合連合会が、褐毛和牛の資質向上を図ろうと昨年より開催している、第二回肉用牛共励会が七月十日北秋田家畜市場で開かれました。

共励会には、各部門に四十頭が

『動物園のお礼に、AKTで』

中央公園に「白鳥」

六月二十四日から二十二日間、



中央公園の児童遊園地で「アフリカンサファリと動物ショー」を開催した秋田テレビでは、そのお礼にと町にオーストラリア産の「コブハクチョウ」一羽が七月十日に贈りました。

当日は、中央公園で午前九時三十分、関係者が出席して贈呈式が行われ、出

川町長、中島AKT部長が白鳥の首に巻かれたテープをカットすると、優雅な姿を湖に浮かべ、ゆうゆうと泳いでいました。

出陳されましたが、審査講評は、資質とも良好な粒ぞろいで優秀なつけがたかった。肥育牛では、出荷適期を逸している傾向がみられるなどの評が出されました。

各部門の最優秀賞は次のとおり
▽若年の部（十二ヵ月～十八ヵ月未満）Ⅱ「かねこ」明石殿（七日市明利又）

▽成牛一部（十八ヵ月～三十六ヵ月未満）Ⅱ堀内佐市（綴子下町）
▽成牛二部（三十六ヵ月～六十ヵ月未満）Ⅱ「くにこ」花岡徳蔵（小森）

▽成牛三部（六十ヵ月以上）Ⅱ「はなひめ」米沢正一（糠沢）
▽肥育の部Ⅱ「重姫」佐藤信一郎（綴子下町）

町民総参加

＝ 体力づくりと住民の連帯、親睦を図る ＝

第16回 町民体育祭

◆とき
◆ところ

8月26日（日）

鷹巣農林高校グラウンド

開会式 午前9時30分

競技開始 午前10時

終了予定 午後3時30分予定

※今年の会場は、農林グラウンドに変更

成人式のご案内

本年度の成人式は、八月十五日鷹巣公民館において行います。今回成人式を迎える方は、昭和三十三年四月二日から昭和三十四年四月一日までのあいだに生まれた町内居住者となっております。のちほど案内状を差し上げます。

なお、就職、学生等で町外に出ている方でも、参加を希望する方は、家族を通して八月五日まで、住所、氏名、生年月日、世帯主名、続柄を教育委員会社会教育課にご連絡ください。電話は、二局一一一番、内線二六四となっております。

おしらせ

おしらせ

おしらせ

へい獣処理場
使用について

河川敷などへのへい獣の不法投棄等を防止するために、脇神字徳左エ門谷地、陣場岱農免道路小摩当川橋のそばにへい獣処理場を新設し、昨年十一月一日から使用を開始しております。

ところが、最近無届けでへい獣が投棄されており、大変困っております。処理場使用にあたっては、次の事項を守ってください。

▽事前に役場衛生係へ届け出ることに

▽消毒剤の配布を受けること

▽所定の場所に埋没し、スコップ等で十センチくらいへい死体に覆土し、押し固めすること

なお、不明な点がありましたら役場保健衛生課衛生係（電話二一一一一）へお問い合わせください。

密漁に厳しく対処

阿仁川漁協

大公望が待ちわびていたアユ釣り、七月一日から解禁となっております。

阿仁部四カ町村一部二ツ井町からなる阿仁川漁協でも、二十万尾という今までにない量の稚アユを放流しましたが、天然アユとともにソ上が見られ、期間中釣りキチ

達を楽しませてくれることと期待しています。

ところで、例年のことながら、根小屋頭魚工上下流五十メートルの禁漁区に密漁者が現われ、投網を使つて大量に捕獲し、注意をされ、投網をきわめております。漁協では事態を憂慮し、監視体制を一層強化するとともに、密漁を発見しだい関係各機関に連絡して厳しく取り締まることにしております。

また漁協では、水産資源の保護培養につとめておりますが、阿仁川、小阿仁川を魚の宝庫とするために、町民のみなさんの協力をお願いいたします。

警察官募集

昭和五十五年四月採用の警察官を次の要領で募集しております。これは、秋田県、埼玉県、千葉県、警視庁、神奈川県および静岡県が共同で実施する警察官の採用です。

▽採用予定人員

秋田県〓約六十人

県外（五県合計）〓約四十人

▽受験資格

昭和二十七年四月二日から昭和三十七年四月一日までに生まれた男子

Aコース〓大学を卒業した者（昭和五十五年三月卒業見込みの者も含む）

Bコース〓Aコース以外の者

▽試験の日時・場所

第一次試験〓九月九日（大館市）

第二次試験〓十一月月中旬（秋田市）

▽合格発表

第一次試験〓十月上旬

第二次試験〓秋田県は十二月上旬。県外は十二月中旬から昭和五十五年一月下旬までの間

▽受付期間

八月三十一日まで

▽申し込み先〓鷹巣警察署

なお、申し込み用紙等くわしいことは、鷹巣警察署警務係（電話二一二四五）にお問い合わせください。

お盆行事の案内

恒例のお盆行事が、それぞれ趣向を凝らし、次の日程で行われますのでお楽しみください。

▽郷土芸能祭〓十四日午後一時から四時まで、午後六時から九時までの二回。場所は児童公園、雨天の場合は鷹巣公民館。

出演団体は、綴子下町、上町の獅子おどり、前山の雑魚つり舞い、今泉の駒踊り、黒沢の番楽、中屋敷の奴おどり、太田の番楽、坊沢、七日市本郷、上舟木の獅子おどりの十団体。

▽歩行者天国〓十四日は午後五時から九時まで。十七日は午前十一時から午後七時まで米代町で。

▽盆踊り大会〓十五日から十七日まで、午後七時から十時まで、米代町で。



図書館だより

秋田県第七回

親子読書感想文募集要項

▽主旨〓県では青少年健全育成の立場から、関係機関団体の協力を得て親子読書運動々々をすすめてまいりました。

親子と、ともども多忙な日常生活をおくっていますが、その中であって、はるかに人を思い歴史の流れを感じ、正しく生きる道をさぐることで、親子といふ本とのであいを通じて、親子が共に豊かな心をもつことを願っています。

▽作品の送りがた

親子一組で、子どもは学校・学年・氏名を、親は住所・氏名職業を明記し、作品は学校でまとめて送ってください。

▽送り先 秋田市中通一丁目四の一九 秋田県児童会館 親子読書感想文募集係

▽締め切り 十月五日（金）

図書紹介

日本教育版画集

全十二冊 別巻二冊

版画教育に熱心な先生方のために参考になります。幼稚園、保育園児、小・中学生のすばらしい作品がのっています。当時の作品も入っています。日常指導に、共同制作指導にご利用ください。



童話会から

夏休み……泳ぐ前に読んでね

泳ぐ前

水泳時のワン・ポイント 注意

夏休みが始まると、待ちかねていたように泳ぎに夢中になり、夏休みも後半になってドツと疲れが出て、そのまま二期を迎える——このようなお子さんをよく見かけます。長い夏休みのペース配分をよく考えた上で計画を立て、無理なく水泳を楽しむように心がけるとともに、健康にはくれぐれも注意を——。

なくても五分はかけて、手足の筋肉や関節を柔らかくしてから泳ぎましょう。

泳いでいるとき

▽小学生の場合、一回泳ぎ時間は十五〜二十分間が限度。くちびるがまっ青になるまで泳いでい

る子供がいますが、要注意。



▽同じプールの中でも、場所によって深さの違う場合があります。プールの水深を調べ、胸あたりの深さで泳ぐようにしましょう。



▽水泳中に手足のけいれんを起こ

した場合、子どもを水から引き上げ、ゆっくり時間をかけてマッサージャーしてください。

海水浴に行くとき

▽海水浴の前日は、子どもたちは興奮してなかなか眠らないものです。睡眠不足にならないよう気をつけてください。



▽日帰りで海水浴に出かける場合など、朝が早いと、朝食も食べずに出かけることがあります。体によくありません。早目に起



▽食後すぐ泳ぐのは体によくありません。少なくとも、二時間くらいたってから泳いでください。

▽女の子の場合、水着は、できれば競泳用のものをおすすめします。ヒラヒラのついた水着は、思わぬところにひっかかりたりするので危険です。

▽泳ぐ前にシャワー



を頭からたっぷりあび、冷たい水に皮膚をならしてください。

▽準備運動には、少



さあ、楽しい夏休み。

子どもたちは、規律正しい学校生活から離れて、家庭中心の毎日を送ることになります。ふだんの生活では味わえない、夏休みならではの貴重な体験をすることができ、過ごし方しいでは有意義な長期休暇となるでしょう。

夏休みの生活

自分の力にかなう「目標」を立てよう

半面、その日その日をただなんとなく過ごすという無計画な姿勢では、あり余る時間をもて余し、精神的にもだらけ、二期期によい影響を与えない場合が多いようです。

に考えさせるのではなく、子どもの自主性を尊重しながら話し合いで作り上げるのがよいでしょう。子どもが自主的な態度で規則正しい生活を送るには、親の協力が必要だからです。

「目標」を立てよう

さて、その生活プランに、夏休みでなければやれそうにない「目標」を一つか二つ加えてみるのもよいでしょう。

「百メートルは泳げるようになる」「朝顔の観察記録をまとめた」——など。子どもの願い



が実現するよう、お母さんは側面から援助してあげてください。子どもが、自分の力にかなう目標を見だし、挑戦し、自主的にやりぬく過程で、強い意志なり物事を全うする心なりが養われるのです。夏休みならではのチャンスといえましょう。

きて、朝食をキチンと食べてから出かけましょう。

▽最初は、いきなり飛び込んだりしないで、脚、手、体を徐々に水に入りましょう。

▽楽しさのあまり、時間を忘れて泳ぎに夢中になってしまいがちですが、十五〜二十分をメドに海から上がり、ゆっくり休みながら海水浴を楽しみましょう。

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

『第24回婦人家庭バレーボール』

上舟木・坊沢・小森が優勝

第二十四回婦人家庭バレーボール大会は、七月八日午前八時十分から鷹小体育館で行われ、Aブロックで上舟木、Bで坊沢、Cで小森がそれぞれ優勝を飾りました。

大会には、鷹巣七、七日市五、綴子三、沢口三、坊沢二、栄一、七座一の二十二チームが参加、三ブロックに分れて予選リーグのあと、上位五チームで、ブロックごとに決勝トーナメントを行いました。会場には応援の婦人会員やダンナさん、子どもたちが多くつめかけ、ママさん選手に盛んな声援をおくっていました。



『鷹巣地区老人クラブで』

児童公園を清掃奉仕

鷹巣地区老人クラブ（長谷川慎一郎会長）では、七月十三日に児童公園の清掃と花壇づくりの奉仕を行いました。

当日は、午前八時から正午まで会員およそ五十人が参加、児童公園内の除草や清掃、樹木のせん定、それに花壇二カ所に百日草やひまわり、コスモスなど一本一本丹精こめて植えつけ、公園をきれいにしました。同クラブでは、このあとも定期的に児童公園や公共地の清掃を行うことにしており、こうした同クラブの奉仕活動は関係者から感謝されています。

『鷹中PTAが選手の遠征費に』

会員が持ち寄り即売会

鷹巣中学校PTA（上遠野雅彦会長）では、大館・北秋地区代表として全県大会に出場する野球、バレーボール男子、剣道男女、相撲、テニス男子、体操男子、陸上、水泳の八種目、七十二人の選手の遠征費の一部とするため、七月十三日午後一時三十分から鷹巣公民館で「即売会」を開きました。

即売会には、会員が持ち寄った衣類、茶器、陶器、日用雑貨などおよそ四百点。値段は安いもので封筒セツトの十円、一番高いものが反物の二千五百円とあって、約三十分ほどで売り切れ。売上金はしめて十万一千二百六十円でした。



老後をたくす 青少年のために

『鷹巣地区婦人が一連の行事』



まず、▽現代の青少年の長所・短所についてどう思うか。という問に対して上位五つをあげると、長所 ①自分の思うことをはっきり言う ②知識が豊富 ③行動力がある ④自主的である ⑤考える力がある。短所 ①忍耐力がない ②礼儀正しくない ③規律正しくない ④思いやりがない ⑤親を大切にしない。の順になっている。

家庭・学校・社会の 教育の調和が大切

鷹巣地区婦人団体連絡協議会（婦人会・農協婦人部・更生婦人会・未亡人会・商工婦人部）は、「私たちの老後をたくす青少年の健全育成を考えよう」をスローガンに一連の事業を実施している。青少年の健全育成は行政任せでなく、住民一人一人の実践が大切である、というのがこの運動の趣旨である。

口達者だが忍耐力がない

六月四日から八日まで、小・中高校生の親七百二十五名を対象に、啓発のための意識調査をした。回答者は四百五十二名（七十二％）である。

近頃新聞・テレビなどで報道されている青少年の非行問題については、気がかりであると答えたのが八十三％、何とも思わないが十七％で、その責任の所在は、社会・学校・家庭の三者の責任と答えたのが五十二％である。家庭の責任と答えたのが三十八％に対して学校の責任と答えたのは僅か一・四％になっているのが注目される。そして九十四％の人が、学校教育・社会教育・家庭教育の調和が大切であると答えている。

だんらんと家事手伝いは
意図的にやらせている

この調査で、八十五％の家庭が意図的に「家庭のだんらん」の機会をつくっていることがわかった。また、六十四％が、毎日か時々家事の手伝いとして、女の子は炊事、男の子はペットの世話や、掃除をやらせている。問題なのはやらせない三十六％で、理由として①子どもにやる気がないから ②仕事がない ③勉強が大事 ④役に立たないから、と答えている。

古里をあらためて見直す

六月二十三日には、小・中・高校生各十名（計三十名）と婦人二十名がバスで町の施設と文化財を見てまわった。その感想文の一部「鷹巣町から出るゴミの量がこんなに驚いた。処理に年間五千万円もかかるそうだが、燃えるゴミと燃えないゴミをよく分けて出さなければ……」（塵芥処理場）「庭の太木・門構え・殿様が泊った部屋などを見て、古里の時の流れを感じた」（七日市・長岐邸）「七万羽の鶏、一日五万个の卵の生産、何よりも機械化されている作業の様子に感動した」（オバラ農産）「いずれも中学二年生の作文であるが、自分の生れ育った古里を改めて見直す必要がある」と述べている。

施設めぐりが終わってから、婦人たちの座談会を開き、父母のこと、お手伝いのこと、地域社会のことなど話があった。

部落訪問



なか や しき
＝中屋敷＝

国道一〇五号線の小森と七日市間のバイパスを米内沢に向って走るとき、右手の方に見えるのが中屋敷部落である。国道からまっすぐに入る道を二百米程して、小猿部川の橋を渡ると、杉林を背に東面する傾斜地に四十九戸が並んでいる。役場からは約七軒ある。

中央小学校百年史によると、この土地は昔、藤木家の開いた藤木村と称し横洲村の分村であった。中屋敷は小猿部川の川端に位置していたが、元録（一六八八）時代の洪水で欠壊し、対岸の藤木村に移転合流した。文化六年（一八一〇）佐竹の殿様が七日市にお泊りの際のお召馬の幕は「七日市村の七五郎と中屋敷の七郎兵衛より借り上げた」と記録にある。また、明治初年、千葉七蔵という精農家がいて、アメリカから豚をとりよせたり砂糖の製造や、茶の栽培をしたことが書かれている。

部落会長千葉義男さんを訪ね近年のことについて聞いた。

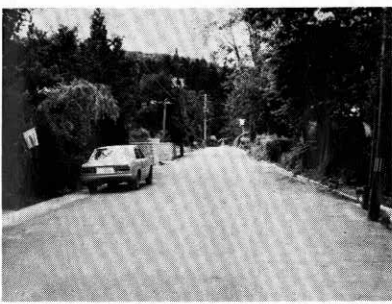
昭和五十年の水害の後、小猿

部川の改修工事で川幅が八十米から百米になり、水田が十haも減ったので平均別約六十haと、沢口農協では最も少ない。若勢団（四十五才まで）は四五年前から、昔の獅子踊りを復活させようと、古老から聞いたメモを頼りに練習して子供たちにも教えている。奴踊りは婦人たちがやっている。

部落には珍しく、七米幅の広いゆきどまり道路があるので、車も来ないし、早苗振り運動会をここでやっている。ことしは民謡コンクールまで発展、みんな大よろこびであった。老人クラブは三十六人で三反歩の大豆栽培、若者たちは三十一人で朝野球をしている。

千葉会長は「子どもたちのために遊び場をつくることと、家庭教育など、映画を見ながら話し合う集いを持ちたい」と語っていた。

（公民館長 長崎 久）





ぼくのおとうさん

ぼくのお父さんは、ぼくがうそをつくとすぐわかって、ものすごくおっかないお父さんになりました。でも、休みの日になると、いっしょにひこうきを作ったり、犬のさんぽに行ったりしてあそびます。男どうしであそんでいる時は、さういこうにうれいしいです。



東小2年

木村信智

るすばんの時は、妹のめんどろを見てやることと決めて、ぼくをたよりにしてくれるので、がんばりたいです。



内が一体となって、昭和四十九年十二月に発足しました。
毎月八日夜七時半から二幸食堂さんへ集まります。会長一名、会計一名、連絡員三名で、会長は一年交代として続けて六年目になりました。



楽しい婦人学級

材木町花田 フミ (49)

学習の内容としては、主婦の健康、暮らしの工夫(生活のムリ、ムダ、ミエを無くする健全経済)、子供の心理と発達、年二回春秋古新聞や、古雑誌の廃品回収、施設めぐり、六月には祭典用の経済的、合理的な料理の実習を行います。

学級が出来たきっかけは、まず町の玄関でありながら、商業で忙しく交流の機会もないので、二、三人の人達で毎月一度のお話し合いでもしたらと言っているうちに、私も私もと意外に参加者が多くなり、また、幸いにも中島婦人会長さんのご協力で、公民館とのつながりが出来、専門の講師を招いてくださり、現在の学級が誕生しました。

みんなの広場



のはなしょうぶ
ハナショウブの原種で
日本の特産。湿地、野原
にはえる。

(南小・阿部達雄先生)

広報のしおり

気象

学校も夏休みに入
つて、夏も本格的に
なっています。
私たちの体は、気温が摂氏二十
五度をこえると汗を出しはじめ、
した。

学級が出来てからは、家族の皆
が協力し、笑顔で送ってくださり、
楽しく勉強しております。
今年は国際児童年でありますの
で、子供の非行防止、明るい家庭
作りをと話し合いをしております。
旧町内にはあまり学級が無いと
聞いております。各町内でも是非
学級作りをすすめたらいかなも
のでしょう。

わがサークル

＝坊沢獅子踊保存会＝

今から二百五十余年前から若勢
達により、お盆行事として夏の夜
を獅子踊りをして楽しんだのが子
孫に引継がれ、郷土の芸能として
育てられてきました。

戦争中は一時中断され、終戦後
郷土を愛する熱烈な青壮年により
復活したが、しかし文化娯楽等の
急速な成長により次第に関心が薄
れ、このままでは消滅するのでは
ないかと心配されましたが、昭和
四十一年古里の土から生まれ育つ
た獅子踊りを保存しよう、賛同
する約五十名をもって保存会が結
成されました。
数少ない長老を師匠に、お盆近
くなると夜遅くまで練習を重ねま

冷たい飲物を欲し、そのため、水
消費量はぐんとふえます。三十度
をこえると食欲に変調をきたしま
す。三十五度ともなれば、仕事の
能率もだいたい落ちてきます。人間
の精神活動は気温四度、また肉体
活動は十五度くらいがそれぞれ最
適で、能率もよいという説があり
ます。四十度をこえれば、もう身

体が妙になってきます。
さいわい、温度差の大きい日本
でも、こんな高温は一日のうちで
もせいぜい数十分間のことなので
その間活動を休止しておればそれ
ほど支障のないのが現状です。こ
ういう意味で、夏休みは合理的な
制度といえます。

す。笛太鼓の音が響き渡ると昔か
らの伝説で「虫追い」と老人達は
喜び、稲穂の出揃うのを楽しみに
します。昭和四十六年から郷土の
芸能を体で知り、古里の思い出と
して子供達の普及に努めておりま
すが意外に参加者が多いのに驚い
ております。お盆には村中を練り
歩き五穀豊稔を祈願しますが、我
が子と一緒に踊る父親、世話をす
る母親、村人達の声援拍手により
一層盛り上がり、夜の更けるのも忘れ
て総出で歓喜し益々踊りに熱が入
ります。最後は農民のため犠牲と
なった五義民の霊を慰め、踊り納
めする習わしになっております。
土に這う独特な踊りを誇りとし
伝統を守り乍ら今年も豊作である
ことを祈ります。

(紹介者 佐藤堅一郎)



おしらせ



一線美術会員 九島幸二氏

八月の健康相談

八月の健康相談は、次のとおりです。
成人健康相談は、八日と二十二日です。
時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

フッ素イオンむし歯予防は、八日です。
時間は、午後一時から午後三時まで。対象者は満三歳以上の幼児で、おいでの時は母子手帳を忘れないでください。

妊婦健康相談は、六日と二十日です。
時間は、午前九時から午後三時まで。

まで。おいでの時は母子手帳を忘れないでください。
また、今月の母親学級は、母乳栄養と妊娠中期の注意について。時間は、午前十時から十一時まで。
※場所は、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

一歳六ヶ月児健康診査は、二日五十二年十二月生まれと五十三年一月生まれとなっています。
受付時間は、午後一時から二時まで。鷹巣公民館ホールで行います。おいでの時は母子手帳を忘れないでください。

乳児健康相談は、十六日五十四年四月生まれとなっています。
受付時間は、午後零時半から一時まで。

離乳食実習指導は、十六日五十四年一月生まれとなっています。
受付時間は、午前九時半から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。
※場所は、いずれも鷹巣保健所で。

予防接種

生後二十四ヵ月から四十八ヵ月までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。
接種日は、鷹巣地区以外の方は二十三日、鷹巣地区の方は二十四日。

日。
受付時間は、午後一時から午後二時まで。鷹巣公民館保健相談室で行います。おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

妊婦訪問

未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦(助産婦)による妊婦訪問を行います。
八月は、▽七日七日市地区▽十四日七座、坊沢地区▽二十日八日八座地区となっています。
訪問時間は、午前九時から午後四時まで。

胃の集団検診

がん予防対策の一環として実施している胃の集団検診は、八月二日から十八日まで次の地域になっております。
検診時間は、いずれも午前六時から七時まで。検診前日の夕食後は、お茶、おやつ等を取らないでください。
検診料は、一人六百円(生保世帯無料)です。

8月2日 鷹巣(鷹巣生活センター) 3日 あけぼの町(鷹巣公民館) 4日 伊勢町、新旭町、森館町(同) 7日 太田(太田児童館) 8日 掛泥(掛泥会館) 9日 高野尻、高野尻団地(高野尻会館) 10日 相善町、深閑(坊沢公民館) 11日 羽立、大町(同) 17日 上町、黒沢(同) 18日 街道町、新屋敷町(同)

労働相談日 開設

労働問題に関連した相談に応ずるため、毎月一日を「労働相談日」として開設いたします。
相談内容は、労働条件、労使関係、労務管理、労働法規、労働教育、労働福祉などに関するもので、主として県労政課の職員が相談を受けます。

場所は、鷹巣町役場二階小会議室。時間は、午前十時から午後四時までとなっています。

福祉手当の支給は

八月六日です

お忘れなく!!

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽中屋敷 千葉義信さんから亡父健治さんの香典返し 三〇、〇〇〇円

▽西横町 成田達雄さんから亡母カシキさんの香典返し 三〇、〇〇〇円



7月1日 - 7月15日

誕生おめでとうございます

長谷川政志(久一 二男) 桜木町

二人の前途を祝福いたします

沢田 祐治 材木町
沓沢 真砂子 大館市
原田 政治 大館市
津谷 妙子 相善町
佐藤 テツ子 脇神
堀内 康雄 下町
北林 睦子 大館市
宮野 栄町

おくやみ申しあげます

成田カシキ(68歳) 西横町
千葉 健治(66歳) 中屋敷
千葉 ツタ(59歳) 岩脇
三沢元一郎(52歳) 田中
能登谷サン(78歳) 相善町
小坂源之助(71歳) 摩当
斎藤 順三(59歳) 掛泥
成田 桑五郎(91歳) 今泉
増田 清太郎(69歳) 東旭町

花田かずみ(一志 二女) 藤株
奈良 卓也(吉夫 長男) 新田中
柳山あき子(恒勝 三女) 学校通
小松 真一(明夫 長男) あけぼの
松尾 秀樹(秀義 二男) 太田
石田 奈穂美(孝雄 二女) 前野
藤原 春彦(建雄 二男) 湯の岱
沢田 吉広(昌治 長男) 太平町
成田 通高(由春 長男) 栄町
富田 俊介(勇一 二男) 学校通
大黒屋鶴子(久道 長女) 下町
桜庭めぐみ(繁雄 長女) 蟹沢
高橋俊太郎(敏男 長男) 学校通
五代儀洋介(隆二 二男) 旭町